

問題用紙は、試験監督員からの開始の指示があるまで
一切開かないでください。

令和 7 年度

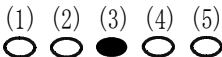
第 二 種 販 売

法令試験問題

K X

試験時間 9 : 30 ~ 10 : 30

注 意 事 項

- (1) 配布された問題用紙の種類（左上に黒地白文字で示しています。）が受験する試験の種類に間違いがないか、また、問題用紙と受験番号札の色が合致しているかどうか、必ず確認してください。
万一、異なる場合は、速やかに試験監督員に申し出てください。
- (2) 答案用紙に記入されている受験番号、氏名等を確認し、間違いがあれば「受験者住所等修正票」を請求し、正しい内容を記入して試験監督員に提出してください。
- (3) ①受験番号の下4桁が「0001～1999」及び「5001～5999」の方は「全問（問1～問20）」を受験してください。
②受験番号の下4桁が「3001～3999」及び「7001～7999」の方は「高圧ガス保安法令に関する問題（問1～問10）」を受験してください。
③受験番号の下4桁が「2001～2999」及び「6001～6999」の方は「液化石油ガス法令に関する問題（問11～問20）」を受験してください。
- (4) この試験は電子計算機で採点しますので、答案用紙に記入する際には、記入方法を間違えないように特に注意してください。
電子計算機は、黒く塗りつぶした ● の部分を読みとります。
- (5) 試験問題の解答は多肢選択式です。解答は、各問題の下に掲げてある(1)～(5)の中から、**最も適切なものを1問につき1個だけ選んでください**。1問につき2個以上選択した場合には、その問題については0点になります。
- (6) 解答は、次の例にならって、答案用紙の所定の欄にマークしてください。
「記入例」
問 次のうち正しいものはどれか。
(1) A (2) B (3) C (4) D (5) E
(3)を選択する場合には、のように、○の枠いっぱいにはみ出さないようにHB又はB鉛筆で黒く塗りつぶしてください。
- (7) 試験問題に関する質問にはお答えできません。
- (8) 「問題用紙」及び「答案用紙」は、試験監督員の指示に従い必ず提出してください。

二販(法) K X

問 1 から問10までの問題は、高圧ガス保安法に係る法令に関するものです。

次の各問について、高圧ガス保安法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、この試験は、次による。

- (1) 令和7年4月1日現在施行されている高圧ガス保安法に係る法令に基づき出題している。
- (2) 経済産業大臣が危険のおそれがないと認めた場合等における規定は適用しない。
- (3) 試験問題中、「都道府県知事等」とは、都道府県知事又は高圧ガス保安法に関する事務を処理する指定都市の長をいう。

問 1 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 高圧ガス保安法は、高圧ガスによる災害を防止して公共の安全を確保する目的のために、高圧ガスの製造、貯蔵、販売、移動その他の取扱及び消費を規制することを定めているが、高圧ガスの容器の製造及び取扱について規制することは定めていない。
- ロ. 温度0度において圧力が0.2メガパスカルである液化ガスは、現在の圧力が0パスカルであっても高圧ガスである。
- ハ. 高圧ガスを充填した容器が危険な状態となっている事態を発見した者は、直ちに、その旨を都道府県知事等又は警察官、消防吏員若しくは消防団員若しくは海上保安官に届け出なければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問 2 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 高圧ガスの販売の事業を営もうとする者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに、事業開始の日の20日前までにその旨を都道府県知事等に届け出なければならない。
- ロ. 液化石油ガス保安規則で定める「充填容器」とは、現に液化石油ガス（液化石油ガスが充填された後にそのガスの質量が充填時における質量の2分の1以上減少していないものに限る。）を充填してある容器をいう。
- ハ. 第二種製造者が高圧ガスの製造のため、貯槽において質量3000キログラム未満の液化石油ガスを貯蔵するときは、第二種貯蔵所においてする必要はない。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問 3 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 販売業者は、液化石油ガスを容器により授受した場合、販売所ごとに所定の事項を記載した帳簿を備え、これを記載の日から2年間保存しなければならない。
- ロ. 販売業者について合併があり、その合併により新たに法人を設立した場合、その法人は販売業者の地位を承継する。
- ハ. 販売業者がその販売所（特に定められたものを除く。）において指定する場所では、その販売所の販売主任者を除き、何人も火気を取り扱ってはならない。

- (1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問4 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（鉄道車両に固定する容器及び再充填禁止容器を除く。）について正しいものはどれか。

- イ．容器の製造をした者は、その容器に自主検査刻印等をしたもの又はその容器が所定の容器検査を受け、これに合格し所定の刻印等がされているものでなければ、特に定められたものを除き、その容器を譲渡し、又は引き渡してはならない。
- ロ．容器に充填する液化石油ガスは、所定の方法により刻印等又は自主検査刻印等で示された容
器の内容積に応じて計算した質量以上のものでなければならない。
- ハ．都道府県知事等は、容器検査に合格しなかった容器（内容積が500リットル以下のもの）がこ
れに充填する高圧ガスの種類又は圧力を変更しても所定の規格に適合しないと認めるときは、
その所有者に対し、これをくず化し、その他容器として使用することができないように処分す
べきことを命じることができる。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問5 次のイ、ロ、ハの記述のうち、高圧ガスを充填するための容器（再充填禁止容器を除く。）及びその附属品について容器保安規則上正しいものはどれか。

- イ．容器（特に定められた容器を除く。）の外面に、充填することができる高圧ガスの名称を明示
しなければならない。
- ロ．容器検査に合格した液化石油ガスを充填するための容器に刻印をすべき事項の一つに、その
ガスの性質を示す文字「燃」がある。
- ハ．容器に装置されていないバルブの附属品再検査の期間は、そのバルブが装置されるべき容
器の容器再検査の期間に関係なく、2年と定められている。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問6 次のイ、ロ、ハの記述のうち、特定高圧ガス消費者が消費する特定高圧ガス以外の液化石油ガス（液化石油ガスを燃料として使用する車両において、その車両の燃料の用のみに消費される液化石油ガスを除く。）の消費に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ．金属の熱処理の燃料用のための消費施設には、その施設から漏えいする液化石油ガスが滞留
するおそれのある場所に、液化石油ガスの漏えいを検知し、かつ、警報するための設備を設け
なければならない。
- ロ．貯蔵設備及び減圧設備並びにこれらの間の配管の周囲5メートル以内においては、所定の措
置を講じた場合を除き、火気（その設備内のものを除く。）の使用を禁じ、かつ、引火性又は発
火性の物を置くことを禁じている。
- ハ．溶接用の液化石油ガスの消費は、そのガスの漏えい、爆発等による災害を防止するための措
置を講じて行わなければならないが、熱切断用の液化石油ガスの消費についてはその定めはな
い。

- (1) イ (2) イ、ロ (3) イ、ハ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問7 次のイ、ロ、ハの記述のうち、車両に積載した容器（内容積が25リットルを超えるもの）による液化石油ガスの移動に係る技術上の基準等について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ．内容積が47リットルの液化石油ガスの充填容器1本を移動するときは、消火設備並びに災害発生防止のための応急措置に必要な資材及び工具等を携行しなくてよい。
- ロ．内容積が120リットル以上の液化石油ガスの充填容器及び残ガス容器は、消防法に規定する危険物と同一の車両に積載して移動してはならない。
- ハ．質量が3000キログラム未満の液化石油ガスであっても、移動中の災害防止のために必要な注意事項を記載した書面を運転者に交付し、移動中携帯させ、これを遵守させなければならない。

(1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問8 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ．液化石油ガスを廃棄するため残ガス容器を加熱するときは、熱湿布を使用してよい。
- ロ．販売業者が販売する液化石油ガスを購入して消費する者に対し、所定の方法により、その液化石油ガスによる災害の発生の防止に関し必要な所定の事項を周知させなければならない場合、その周知させるべき事項の一つに、「使用する消費設備のその販売する液化石油ガスに対する適応性に関する基本的な事項」がある。
- ハ．特定高圧ガス消費者に係る液化石油ガスの消費施設の減圧設備の外から第一種保安物件に対して有すべき第一種設備距離は、その減圧設備の処理能力から算出される。

(1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) イ、ロ、ハ

問9 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売業者について正しいものはどれか。

- イ．選任していた販売主任者を解任し、新たに販売主任者を選任した場合は、その解任及び選任について、遅滞なく、都道府県知事等に届け出なければならない。
- ロ．液化石油ガスを燃料（工業用燃料を除く。）の用に供する消費者にそのガスを販売する者にあつては、配管の気密試験のための器具又は設備を備えなければならない。
- ハ．液化石油ガスの貯蔵を伴わない販売所には、販売主任者を選任する必要はない。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問10 次のイ、ロ、ハの記述のうち、販売業者が質量1.5キログラムを超える液化石油ガスを容器（液化石油ガスを燃料として使用する車両に固定した容器（その車両の燃料の用のみに供するものに限る。）を除く。）により貯蔵する場合、貯蔵の方法に係る技術上の基準について液化石油ガス保安規則上正しいものはどれか。

- イ．直射日光を遮るための措置を講じた容器置場に置く充填容器及び残ガス容器は、常に所定の温度以下に保つ必要はない。
- ロ．車両に固定した容器により液化石油ガスを貯蔵することは禁じられているが、車両に積載した容器により液化石油ガスを貯蔵することはいかなる場合であっても禁じられていない。
- ハ．充填容器及び残ガス容器（それぞれ内容積が5リットルを超えるもの）には、転落、転倒等による衝撃及びバルブの損傷を防止する措置を講じ、かつ、粗暴な取扱いをしてはならない。

(1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問11から問20までの問題は、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律（以下「液化石油ガス法」という。）に係る法令に関するものです。

問11から問20までの各問について、液化石油ガス法に係る法令上正しいと思われる最も適切な答えをその問の下に掲げてある(1)、(2)、(3)、(4)、(5)の選択肢の中から1個選びなさい。

なお、この試験は、次による。

- (1) 令和7年4月1日現在施行されている液化石油ガス法に係る法令に基づき出題している。
- (2) 経済産業大臣が危険のおそれのないと認めた場合等における規定は適用しない。

問11 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 液化石油ガス法は、一般消費者等に対する液化石油ガスの流通量を調整することにより、需要と供給の安定化を図ることも目的としている。
- ロ. 「液化石油ガス」とは、プロパン、ブタン及びプロピレンを主成分とするガスを液化したもの（その充てんされた容器内又はその容器に附属する気化装置内において気化したものを含む。）をいう。
- ハ. 液化石油ガスを自家用自動車の燃料として使用する者は、「一般消費者等」である。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問12 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ. 2以上の経済産業局の管轄区域内に販売所を設置して液化石油ガス販売事業を行おうとする者は、経済産業大臣の登録を受けなければならない。
- ロ. 液化石油ガス販売事業者は、特に定められた場合を除き、販売所ごとに面積3平方メートル以上の自己の用に供する液化石油ガスの貯蔵施設を所有し、又は占有しなければならない。
- ハ. 経済産業大臣の登録を受けた液化石油ガス販売事業者が、特定供給設備を設置して液化石油ガスを供給しようとするときは、その特定供給設備ごとに経済産業大臣の許可を受けなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問13 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ．経済産業大臣の認定を受けた保安機関は、その保安業務に係る一般消費者等の数を、認定を受けた数の範囲を超えて増加しようとするときは、経済産業大臣の認可を受けなければならない。
- ロ．液化石油ガス販売事業者及び保安機関が保安業務に係る委託契約を締結するとき、相互に交付する書面に記載すべき事項の一つに、「委託に係る供給設備又は消費設備について液化石油ガスによる災害が発生するおそれがある場合の連絡に関する事項」がある。
- ハ．保安機関は、保安業務を行うべき場合において、その保安業務の遂行に支障がない場合に限って、これを他人に委託することができる。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問14 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガス販売事業者が選任する業務主任者及びその代理者について正しいものはどれか。

- イ．選任しなければならない業務主任者の要件は、その者が第二種販売主任者免状又は液化石油ガス設備士免状の交付を受け、かつ、液化石油ガスの販売の実務に6か月以上従事した経験を有することである。
- ロ．選任した業務主任者が旅行、疾病その他の事故によってその職務を行うことができないときは、あらかじめ選任した業務主任者の代理者にその職務を代行させなければならない。
- ハ．液化石油ガス販売事業者が一般消費者等と液化石油ガス販売契約を締結したときは、その一般消費者等に所定の事項を記載した書面を交付しなければならないが、その書面を作成し、又はその作成を指導することは、業務主任者の定められた職務の一つである。

(1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問15 次のイ、ロ、ハの記述のうち、正しいものはどれか。

- イ．高圧ガス保安法の販売主任者免状の交付を受けている者は、保安業務である消費設備の調査を行うことができる保安業務資格者である。
- ロ．液化石油ガス販売事業者が一般消費者等と液化石油ガスの販売契約を締結したとき、その一般消費者等に交付する書面に記載すべき事項の一つに、「販売所ごとに選任している業務主任者の氏名」がある。
- ハ．業務主任者の代理者の資格を有する者は、保安機関が行う保安業務に係る供給設備の点検を行うことができる資格を有している。

(1) イ (2) ハ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問16 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ．供給管若しくは配管又は集合装置に接続されていない充てん容器及び残ガス容器は、それぞれ区分して販売所の任意の場所に置くことができる。
- ロ．バルク貯槽については、所定の方法により検査を行わなければならない。
- ハ．供給管の修理をするため液化石油ガスを遮断するときは、あらかじめ修理の作業計画を定め、その作業計画に従い修理を行えば、作業の責任者を定める必要はない。

- (1) イ (2) ロ (3) ハ (4) イ、ロ (5) ロ、ハ

問17 次のイ、ロ、ハの記述のうち、液化石油ガスの販売の方法の基準について正しいものはどれか。

- イ．充てん容器を供給管若しくは配管又は集合装置に接続するときは、その充てん容器は、充てん期間を6か月以上経過していないものであり、かつ、その旨を明示したものでなければならない。
- ロ．液化石油ガス販売事業者は、特に定められたところにより質量により販売した液化石油ガスであって消費されないものは、一般消費者等の不在その他やむを得ない事情がある場合を除き、一般消費者等の立会いの下に質量により計り、その質量に応じた適正な価格で引き取らなければならない。
- ハ．液化石油ガス販売事業者は、新たに一般消費者等に液化石油ガスを供給する場合において、その一般消費者等に液化石油ガスを供給する他の液化石油ガス販売事業者の所有する供給設備が既に設置されているときは、いかなる場合であっても、速やかに、その供給設備を撤去しなければならない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問18 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

- イ．供給設備の充てん容器及び残ガス容器には、湿気、水滴等による腐しよくを防止する措置を講じなければならないが、容器に取り付けられたスカートにはその必要はない。
- ロ．供給設備のうち、容器による貯蔵設備であって、その貯蔵能力が1000キログラム以上であるものには、特に定められた場合を除き、さく、へい等を設けなければならない。
- ハ．生活の用に供する液化石油ガスに係る調整器（二段式減圧用一次側のものを除く。）とガスメーターの間の供給管は、燃焼器の入口における液化石油ガスの圧力を3.5キロパスカルに保持するものでなければならない。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) ロ、ハ (5) イ、ロ、ハ

問19 次のイ、ロ、ハの記述のうち、供給設備（特定供給設備及びバルク供給に係る供給設備を除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ．貯蔵設備の貯蔵能力が 2900 キログラムである貯蔵設備に液化石油ガスが滞留しないような措置を講じている場合は、貯蔵設備には消火設備を設ける必要はない。

ロ．供給管を地盤面上に設置する場合においてその周辺に危害を及ぼすおそれのあるときは、その見やすい箇所に液化石油ガスの供給管である旨、供給管に異常を認めたときの連絡先その他必要な事項を明瞭に記載した危険標識を設けなければならない。

ハ．一つの供給設備により二つ以上の消費設備に液化石油ガスを供給する場合は、一般消費者等への液化石油ガスの供給を中断することなく充てん容器及び残ガス容器の交換を行うことができる設備を設けなければならない。

- (1) ロ (2) ハ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ

問20 次のイ、ロ、ハの記述のうち、消費設備（質量により液化石油ガスを販売する場合におけるものを除く。）の技術上の基準について正しいものはどれか。

イ．配管は、その設置又は変更（硬質管以外の管の交換を除く。）の工事の終了後に4.8キロパスカル以上の圧力で行う気密試験に合格するものでなければならない。

ロ．末端ガス栓は、特に定められた場合を除き、所定の燃焼器の区分に応じ、所定の方法により、燃焼器と接続されていなければならない。

ハ．ガス瞬間湯沸器以外のガス湯沸器（屋内に設置するものに限り、密閉式のものを除く。）であって、液化石油ガスの消費量が8キロワットのものには、これに接続する排気筒又はこのガス湯沸器の排気のための排気フードのいずれも設ける必要はない。

- (1) イ (2) ロ (3) イ、ロ (4) イ、ハ (5) ロ、ハ